

# 救急科・集中治療科

救急科統括部長 本間 洋輔

集中治療科統括部長 立石 順久

## 1 部門目標

- ・救急科専門医が、救急外来（ER）ですべての救急患者の初期診療に対応する。
- ・内科系・外科系を問わずあらゆる救急疾患に対し適切な初期診療を提供し、他科と協力して治療にあたる。
- ・断らない救急を目標とし、千葉市の救急医療体制に貢献する。
- ・救急外来診療を通じて初期研修医教育の充実を図る。

## 2 業務体制・スタッフ

- ・救急科専従医：織田成人、本間洋輔、立石順久、石丸忠賢、國谷有里
- ・救急科スタッフ（兼任）：川名秀俊、加藤真優
- ・非常勤医：千葉大学医学部附属病院救急科医師  
東京ベイ浦安市川医療センター救急科医師  
石垣佳織、小平奈々
- ・初期臨床研修医：1～3名
- ・病院救命士：5名

## 3 業務実績

### 救急科受け入れ患者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
救急科受け入れ患者数	1885	2846	3012
帰宅	1249	2047	2213
入院	510	668	726
他院へ搬送	126	98	60

### 救急搬送件数

	平成31年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小児	1464	1716	1127	1586	2329	3005
成人	1784	3046	2680	2791	3287	3640
合計	3248	4762	3807	4377	5616	6645

病院救急車運行件数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
送り搬送	1	13	231
迎え搬送	1	19	254
合計	2	32	470

MET 対応件数

令和3年度 47件

令和4年度 52件

令和5年度 52件

## 集中治療室利用状況

		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入室患者数				(ICU/HCU 重複あり)
	外来から	258	334	484
	病棟/OR から	112	98	231
	合計	380	448	715
診療科				(同上)
	救急科	32	127	173
	循環器内科	104	126	131
	小児科	59	74	140
	心臓血管外科	38	44	72
	内科 (含消化器)	92	42	43
	産科	18	14	0
	外科	24	12	18
	脳神経外科	0	6	135
	その他 (泌尿器科、耳鼻科など)	13	2	3
使用機材				
	人工呼吸器 (人)	52	83	150(NPPV 含)
	NPPV/HFNC (人工呼吸器併用除く)	57	33	44(HFNC のみ)
	血液浄化	13	24	26
	ECMO			6

#### 4 1年間の総括

今年度は新たに救命士を3名雇用し、ER業務をさらに充実するとともに、病病連携、病診連携の向上のために病院救急車による転院搬送業務を本格的に開始し令和5年度で470件の病院救急車による搬送を実施することができた。その結果、救急外来での救急患者の受け入れ、ICU/HCUへの重症患者の入室数を増やすことができた。また集中治療においては集中治療専門施設の認定をとることができ、重症患者の受け入れ体制の構築をすすめることができた。

東京ベイ浦安市川医療センター救急科および千葉大学医学部附属病院救急科から救急専従医、そのほかにも救急専門医2名がそれぞれ週1～2回手伝いに来るようになり、診療体制はさらに安定し、ベッドサイド教育はいわゆる屋根瓦式の教育がより充実してできるようになった。昨年度から実施している毎週1回の症例振り返りカンファレンスの開催、他病院との合同オンライン勉強会への参加ができるようになり教育体制が充実した。

#### 5 今後の目標

- ・スタッフを増員することでライフワークバランスを維持した上でERの対応時間をさらに拡大し、市内での救急需要に応えることができる体制整備をすすめる
- ・各科の協力を得てICUに集中治療管理に長けた医師が常駐できるようにシステム整備をすすめる
- ・病院救命士を増員、常勤化することでタスクシフトおよび集患を進め、さらに市民にとって頼られる救急外来を構築していく